



# 根堀台だより

平成29年12月25日

第 88号

校訓「進歩(文)」「健康(武)」「協力(道)」

## 明日から冬休み 新しいスタート位置に立って

「はじめまして」

この一秒ほどの言葉に  
一生のときめきを感じることもある

「ありがとう」

この一秒ほどの言葉に  
人のやさしさを知ることがある

「がんばって」

この一秒ほどの言葉に  
勇気がよみがえってくることもある

「おめでとう」

この一秒ほどの言葉に  
幸せにあふれることがある

「ごめんなさい」

この一秒ほどの言葉に  
人の弱さを見ることがある

「さようなら」

この一秒ほどの言葉が  
一生の別れになるときがある

一秒に喜び 一秒に泣く  
一所懸命 一秒

今日は「冬休み前集会」、明日からいよいよ「冬季休業」が始まります。10月11日に始まった「後期」ですが、ここで一旦子どもたちをご家庭にお返しし、20日間を家族で過ごすこととなります。年末年始を迎え、子どもたちと一緒に「今年の反省」と「新年の抱負」などについてお話していただければと思います。

左記の言葉は今まで二回だけ放送された SEIKO の「一秒の言葉」という CM です。1994年にラジオの CM として制作されたものを、翌1995年にテレビ CM 化したもので、その年の暮れの TV 番組「ゆく年くる年」でたった一度だけしか放送されませんでした。そして二度目はリメイクされたものが2008年6月10日の「時の記念日」に放送され、オリジナル版と同じく一度しか放送されませんでした。

さて、「今」という時間は一体どれ位の長さなのでしょう？「今」は「一瞬」という言葉に置き換えることができる本当に短い時間です。「一瞬」は英語では moment または second といいます。moment は数えることはできませんが、second は数えることのできる時間の単位で最も短いものであり、「一秒」を意味します。

たった「一秒の言葉」でも、たった数文字の言葉でも、私たちの言葉には大きな力があり、他人の人生や生き方にまで大きな影響を与えることになるのです。

子どもたちがこの学舎で、この一年間共に過ごした人たちは自己の成長を支えてくれた「チーム由利中」の「大切な仲間」です。この一年を振り返り、子どもたちには是非「家族」と「大切な仲間」に「ありがとう」という「心を幸せにする言葉」をかけて欲しいと願っています。そして、来年3月には「おめでとう」「がんばって」「ありがとう」「さようなら」そして、4月には「はじめまして」という言葉を心を込めて言いたいものです。それでは今年1年、由利中と96名の子どもたちを支えて頂き本当に「ありがとうございました」。佳いお年をお迎え下さい。

## 冬休み前集会でのお話

今日が今年最後の登校日となりました。この1年間を振り返ってみて、皆さんにとって長い1年だったでしょうか。それとも、あっという間の1年だったでしょうか。長く感じた人はいますか。逆に短く感じた人はいますか。おそらく、この1年はあっという間だったと感じている人が多いようですね。もしかすれば、「小学校の時は1年のたつのがずいぶん長かったのに、中学校になったら、だんだん1年が短くなってきた。」と感じてはいませんか。確かに「歳をとるにつれて、時間の経つのがだんだん早く感じられるようになる」というのは、誰もが口をそろえていう、まぎれもない事実です。

考えてみると、1歳の子どもにとって「1年」という時間の長さは人生の1分の1、つまり「1年は100%」となります。5歳の子どもにとって、「1年」という時間の長さは、5歳のうちの「1年」ですから、人生の5分の1、つまり、「1年は人生の20%」を占める時間となります。3年生の皆さんはどうですか。ほとんどの人が15歳ですから、「1年は人生の15分の1」、パーセントに直すと、「6.6%」となります。5歳の子どもと比べると、皆さんの方が3倍「1年」がたつのが早く感じられることとなります。私は先月60歳になりました。私にとっての「1年」は「人生の60分の1」に過ぎません。たった「1.6%」です。従って、「1年」が3年生の皆さんよりもさらに4倍早く感じられてしまいます。つまり、3年生の「3ヶ月」と私の「1年」は、感覚的には等しいこととなります。これを心理学を切り口として説明したのが、フランスの学者ポール・ジャネーであり、これを「ジャネーの法則」といいます。

実はここからが大きな問題なんです。人生80年と言われる今、「人生の中間地点」、つまりマラソンで言う「折り返し点」は、いったい何歳ごろかということです。普通に考えると40歳が「折り返し点」となります。しかし、「ジャネーの法則」から考えると「頭の中で感じる人生の長さ」を厳密に計算して折り返し点をはじき出します。さらに時間のたつのが年々早くなっていくから、頭の中で感じる人生の折り返し点は40歳よりもっと早いこととなります。

さて、皆さんは何歳から記憶が残っていますか。保育園のころを思い出してみてください。5歳の人は？ 4歳の人は？ 3歳の人は？まさか小学校1年生の記憶も無い人なんていませんか。私は誰かの膝の上で、今の天皇陛下と美智子様のご成婚のパレードをしているテレビを家族と一緒に見た記憶があります。当時は各家庭にまだテレビが普及していませんでした。祖母が「さあみんなパレードが始まるよ。」と言って、近所から沢山の人が我が家の居間のテレビの前に集まってきたという記憶が鮮明に私の中に残っています。調べてみるとそれは、昭和34年4月10日のことでした。すると私の最も古い記憶は1歳半の記憶ということになります。自分でも驚いています。

この「ジャネーの法則」に沿って計算すると、3歳から記憶が始まっている人の場合、折り返し点は16歳となります。4歳から記憶が始まっている人なら折り返し点は19歳。5歳から記憶が始まっている人なら折り返し点は20歳の前半となります。もしかすれば、この中にはすでに人生の折り返し地点を過ぎてしまった人が、もしかすればいるかもしれませんね。

いずれにしても、確実に言えるのは、歳をとるにつれ、時間の経つのは間違いなく早くなるということです。「ジャネーの法則」は「歳を重ねるごとに時間は加速していくのだから、時間を無駄にしてはいけない。だからこそ、充実した1日を生きななければならない。」と私たちに語りかけているように思います。皆さん「まだまだ時間はたっぷりある」と油断せず、なるべく早いうちから、自分の人生や生き方について考え、将来に向けた確かな準備を進めていくことが大切です。

特に3年生は入試が目前です。最後の追い込みの時期となります。全員が「なりたい自分」となれるように、悔いを残さない生活を送って下さい。2年生は先日修学旅行を成功させました。旅は移動した距離の分だけ、出会った人の数だけ成長できると言います。皆さんのNEXT STAGEである「最上級生」にふさわしい成長に期待しています。そして1年生は中堅学年への進級を迎え、来年は先輩となります。そのためには、今の学年に見合った力を今からしっかりと身に付けておかなければなりません。どの学年にとっても、この冬休みの過ごし方が来年の自分を決めることとなります。みんなにとって、とても大切な冬休みなんです。しっかり頑張りましょうね。

さて、最後になりましたが、今年も間もなく終わりを告げます。よい1年だった人。苦しい1年だった人。充実した1年だった人。悩んだ1年だった人。振り返ってみれば、いろいろな思いが心に浮かぶことでしょう。

皆さん、ぜひこの1年をじっくりと振り返ってみてください。振り返ることで、来年自分はどう生きればいいのかがよく分かってくるはずですよ。皆さんは今年、常に夢である「なりたい自分」を目標に、「夢あきらめない」でチャレンジし続けてきましたか。

新しく迎える1年が、「なりたい自分」を目指し、今より少しでも前向きな自分に変われたらなら、きっと誰もが素晴らしい実りある充実した1年となることだと思います。新しい1年が、皆さんにとって、よい1年になることを祈っています。では、1月15日みんなでまた会いましょう。元気に過ごしてください。

佳いお年を祈っています。

